
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第6週
(2月3日～2月9日)

- * 2014年2月12日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「眼科感染症の最近の動向」も記載しています。

平成26(2014)年2月13日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年6週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		3週	4週	5週	6週	年累計	6週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	43	54	62	55	291	297	2,028
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢					2		7
	腸管出血性大腸菌感染症						3	40
	腸チフス	1	1	1		3	1	6
	パラチフス					1		1
四類	E型肝炎		2			3	1	10
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎			1	2	3	12	25
	エキノкокクス症							1
	黄熱							
	オウム病					1		1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3							1
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							
	つつが虫病					1	1	19
	デング熱	1	2		2	5	1	10
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱								
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		3週	4週	5週	6週	年累計	6週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア							6
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	1	4	2		15	12	111
	レプトスピラ症							2
ロッキー山紅斑熱								
2014/2/12集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 55件 肺結核 30件、その他の結核 6件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 18件、年齢は5歳未満 3件、20代 3件、30代 7件、40代 7件、50代 6件、60代 8件、70代 8件、80代 12件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 53件、スリランカ 1件、ネパール 1件であった。

〈三類感染症〉

報告なし。

〈四類感染症〉

A型肝炎 2件 患者 2件、年齢は30代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 2件であった。30代の事例については、一緒に食事をした友人もA型肝炎を発症している。80代の事例は老人ホームに入所中である。

デング熱 2件 患者 2件、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、推定感染地はインドネシア 2件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年6週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		3週	4週	5週	6週	年累計	6週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	2	4	1	6	15	12	88
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2				4	1	22
	急性脳炎 *1		1	2	2	6	2	57
	クリプトスポリジウム症		1			2		4
	クロイツフェルト・ヤコブ病						1	9
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	4	1		8	2	30
	後天性免疫不全症候群	16	6	5	5	44	16	123
	ジアルジア症						1	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2			1		4	2	27
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2					1	1	5
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	3	5		6	28	30	220
	先天性風しん症候群		1			2		5
	梅毒	8	15	9	8	47	14	125
	破傷風				1	3		9
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	1		5
	風しん	2	4	1	1	11	7	50
麻しん	1	1	4		6	12	83	
2014/2/12集計								

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 6件 腸管 5件、腸管及び腸管外 1件、年齢は30代 3件、50代 3件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 1件、異性間 1件、性別不明 1件)、経口感染 1件、その他(不明) 2件であった。

急性脳炎 2件 病原体不明 2件、年齢は20代 2件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はその他(不明) 2件であった。

後天性免疫不全症候群 5件 AIDS 1件、無症候キャリア 2件、その他 2件、AIDS患者の年齢は40代、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 1件、30代 1件、40代 2件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は性的接触 5件(同性間 4件、性別不明 1件)であった。その他の1事例は、アメーバ赤痢(第6週報告)との重複感染を認めている。

侵襲性肺炎球菌感染症 6件 血清型は未実施 6件、年齢は5歳未満 1件、10歳未満 1件、50代 1件、60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 2件、その他(不明) 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は7価1回目から4回目まで接種済み 1件、7価1回目から2回目まで接種済み 1件、接種なし 2件、不明 2件であった。

梅毒 8件 早期顕症梅毒Ⅱ期 6件、無症候梅毒 2件、年齢は20代 2件、30代 4件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 8件、推定感染経路は性的接触 8件(同性間 5件、異性間 3件)であった。

破傷風 1件 臨床診断例、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染(左ひざ挫創)であった。

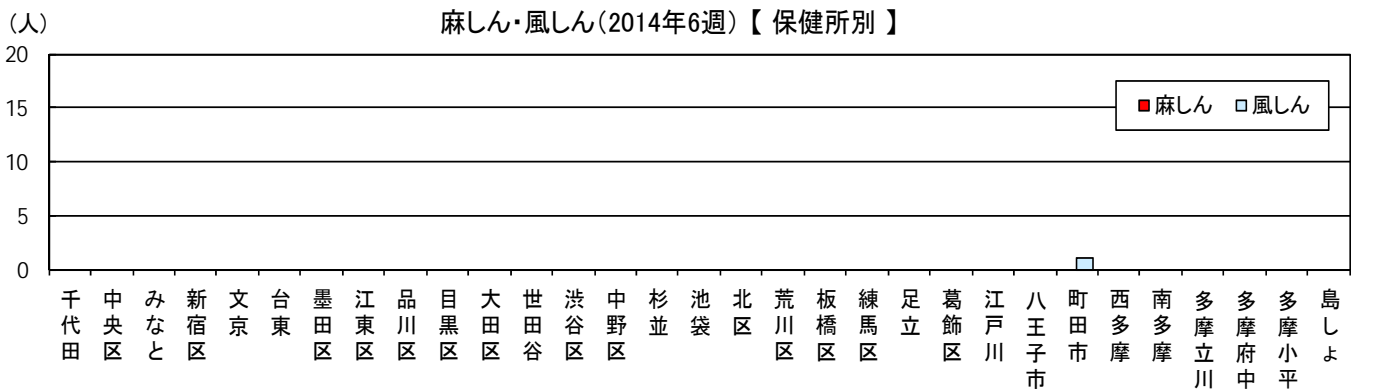
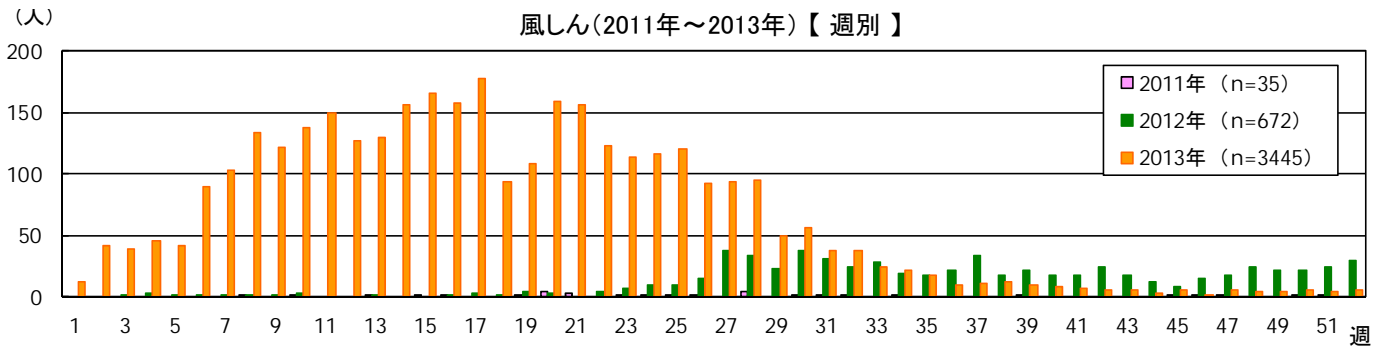
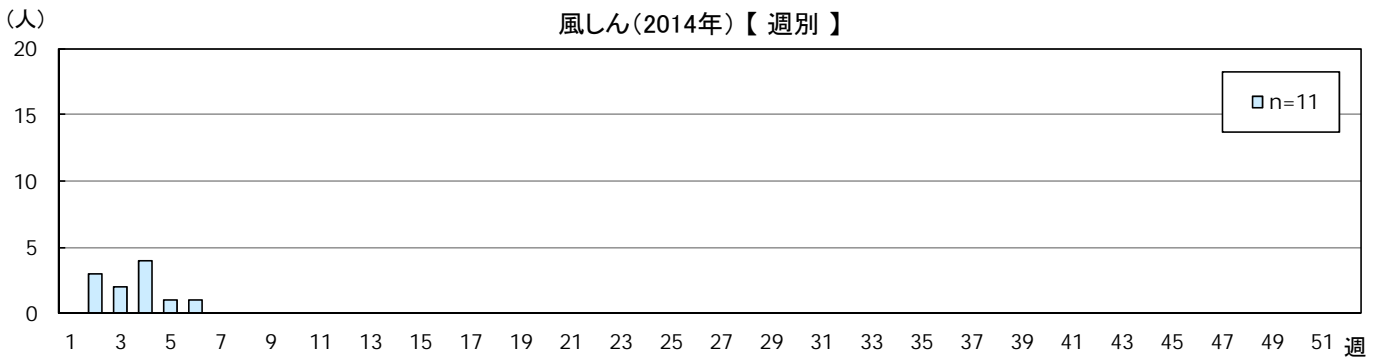
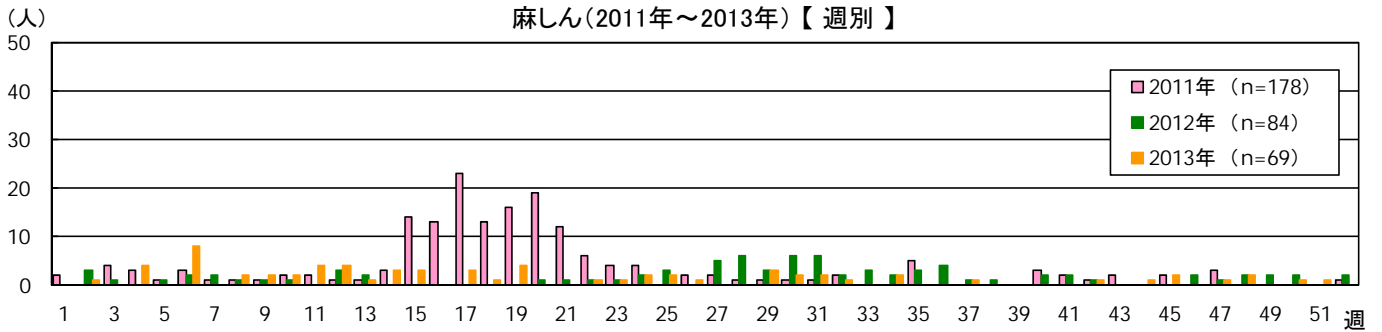
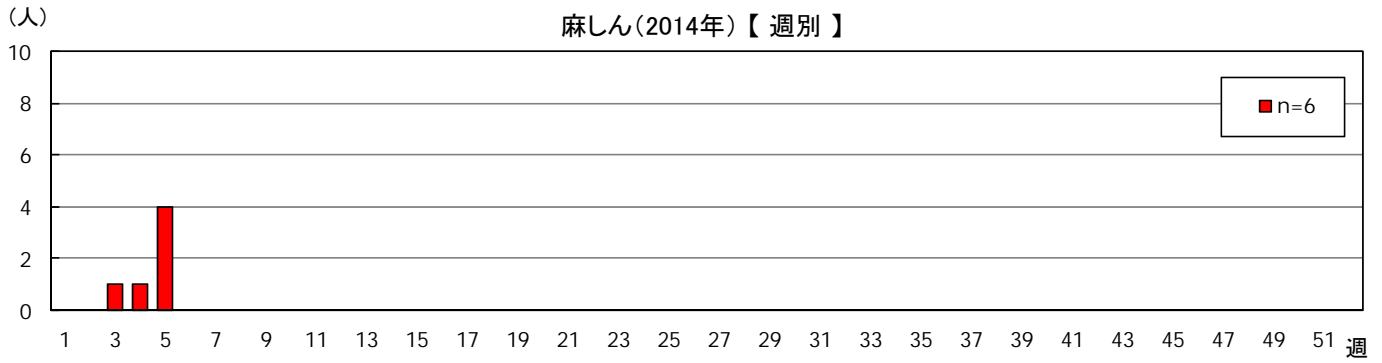
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 遺伝子型は不明、年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)であった。

風しん 1件 検査診断例、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は接触感染、風しん含有ワクチン接種歴は接種なしであった。

※ 第4週該当分として〔五類〕侵襲性肺炎球菌感染症 1件の追加報告があった。

※ 第5週該当分として〔五類〕侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件、麻しん 1件(検査診断例、遺伝子検査陽性(B3型)、年齢0歳、推定感染地域フィリピン)の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年6週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		3週	4週	5週	6週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	85	85	77	81	0.31	263	264
	咽頭結膜熱	58	57	78	91	0.35		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	404	622	550	437	1.66		
	感染性胃腸炎	2,936	3,397	2,777	2,097	7.97		
	水痘	201	298	201	192	0.73		
	手足口病	13	9	20	13	0.05		
	伝染性紅斑	108	87	73	50	0.19		
	突発性発しん	149	118	121	100	0.38		
	百日咳	2	1	2				
	ヘルパンギーナ	2	4		1	0.00		
	流行性耳下腺炎	34	34	36	22	0.08		
	川崎病 *1	1	5	3	5	0.02		
不明発しん症 *1	10	17	23	24	0.09			
インフルエンザ	インフルエンザ *2	4,639	12,317	17,091	14,288	34.43	415	419
眼科	急性出血性結膜炎						37	39
	流行性角結膜炎	12	14	20	20	0.54		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	1		1	2	0.08	25	25
	無菌性髄膜炎	2	2	1	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	4	4	3	2	0.08		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1		1	1	0.04		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	1	4	3	6	0.24		
	インフルエンザ入院	42	61	83	57	2.28		

2014/2/12集計

- *1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 *2 鳥インフルエンザを除く。
 *3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
 *4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は減少したが、警報状態が続いている。
- ・感染性胃腸炎(ロタウイルス)の定点当たり報告数は、増加し、調査開始以来で最も多い。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

みなと

- ・突発性発しん 2歳児 2名
- ・感染性胃腸炎 18名中、ロタウイルス 5名(ワクチン接種済2名、未接種3名)

台東

- ・溶連菌感染症 9歳児、成人 各1名

世田谷

- ・アデノウイルス迅速検査キット 5名
- ・クループ 3名

杉並

- ・ロタウイルス 1歳児 1名

荒川区

- ・病原性大腸菌 O15 1名、O25 3名、O161 1名
- カンピロバクター 2名

葛飾区

- ・アデノウイルス扁桃炎 2歳児 1名

八王子市

- ・アデノウイルス咽頭炎 1歳児 1名

多摩府中

- ・ノロウイルス胃腸炎 3名

- ・アデノウイルス 3名

多摩小平

- ・病原性大腸菌 2名、ノロウイルス腸炎 3名、ヒトメタニューモウイルス 1名

※「インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント」は15ページに記載

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年6週

定点種別	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	19			12	2						
6～11か月	19	2	1	71	11			40			
1歳	21	14	11	161	34	8	6	54			1
2歳	9	9	18	154	19		4	5			3
3歳	7	8	44	162	27	2	6	1			6
4歳	2	11	59	189	27		7				3
5歳		13	65	188	21	1	5			1	5
6歳		8	56	155	9		8				1
7歳		6	44	128	22		7				3
8歳	1	5	27	101	8		2				
9歳		3	32	95	2	2	2				
10～14歳	3	5	58	251	8		1				
15～19歳		1	7	70			1				
20～29歳		6	15	360	2		1				
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	81	91	437	2,097	192	13	50	100		1	22
先週比	4	13	-113	-680	-9	-7	-23	-21	-2	1	-14

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	1	1	32			2	1				6
6～11か月		6	155							1	1
1歳	3	2	454		1					3	4
2歳	1	3	510								
3歳		2	604							1	2
4歳		4	831							1	2
5歳		2	1,008		1						4
6歳		1	1,065								4
7歳		2	1,155								1
8歳			1,046								2
9歳			849								2
10～14歳			2,437					1			4
15～19歳			522								2
20～29歳		1	520		1			1			1
30～39歳			1,094		9						2
40～49歳			1,120		4				1		3
50～59歳			485		1						4
60～69歳			251		3						2
70～79歳			115								6
80歳以上			35								5
合計	5	24	14,288		20	2	1	2	1	6	57
先週比	2	1	-2,803			1		-1		3	-26

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年6週

定点種別	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				5.00	1.00			0.33			
中央区			1.67	1.00				0.33			
みなと	0.33	0.83	0.83	9.33	1.00		0.17	0.67			0.33
新宿区	0.63	0.50	1.38	5.75	0.50		0.38	0.13			
文京	0.25		0.50	5.75	0.25			1.00			
台東	0.25	0.50	2.00	10.75	0.25						0.50
墨田区		0.60	0.60	6.20	1.40			0.20			
江東区	0.78	0.11	1.67	15.89	0.89	0.33	0.11	0.67			0.33
品川区		0.13	0.38	9.88	0.63	0.13	0.13	0.50			
目黒区				3.40	0.40	0.20		0.20			
大田区	0.69	0.69	1.31	10.00	0.85	0.08	1.15	0.46			0.15
世田谷	0.31	0.19	1.75	7.00	0.50		0.44	0.25			
渋谷区	0.50		0.25	7.75		0.50					
中野区			0.57	8.29	1.00	0.14		1.14			
杉並	0.10		0.30	7.80	0.10		0.10	0.30			
池袋	0.40		1.20	8.00	0.60			0.20			
北区			0.71	4.71	0.86			0.57			
荒川区	1.25	0.25	2.00	5.50	1.00		0.25	0.75			0.25
板橋区			0.70	5.60	0.90		0.20	0.30			
練馬区	0.17	0.42	1.67	7.42	0.17		0.25	0.25			0.17
足立	0.38	0.23	1.00	9.08	1.38			0.62			0.08
葛飾区		0.13	1.38	6.88	0.75		0.25	0.38			
江戸川	0.33	0.42	4.00	10.25	0.83		0.25	0.17			0.25
八王子市	0.36	0.82	4.91	12.73	1.36	0.09	0.18	0.36			0.36
町田市		3.38	5.63	9.88	0.38		0.13	0.25			0.13
西多摩	0.25	0.63	1.63	7.00	0.63			0.13		0.13	0.13
南多摩	0.44	0.11	2.44	6.67	0.67		0.22	0.44			
多摩立川	0.50	0.07	1.64	6.07	0.21	0.14	0.14	0.29			
多摩府中	0.29	0.05	1.43	10.00	0.95	0.05	0.10	0.29			
多摩小平	0.47	0.27	1.73	4.40	1.20		0.07	0.53			
島しょ			1.00								
東京都	0.31	0.35	1.66	7.97	0.73	0.05	0.19	0.38		0.00	0.08

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田			21.00					0.50			
中央区			25.40		3.00						
みなと		0.17	28.11								2.00
新宿区	0.13		24.09					0.50			1.50
文京			23.50							2.00	1.00
台東			24.00								
墨田区		0.40	31.50		2.00						5.00
江東区	0.11	0.11	36.43								
品川区			25.58								
目黒区			12.63		2.00						
大田区		0.08	30.05								
世田谷			35.56			0.50					6.00
渋谷区		0.25	18.71							2.00	4.00
中野区			20.64								
杉並			35.88		1.00						
池袋		0.20	19.88		1.00						3.00
北区			35.45								
荒川区		0.25	50.14		1.00						
板橋区			22.94		1.00						3.00
練馬区			32.80								
足立	0.08	0.08	32.55		0.50						
葛飾区			37.46						1.00	2.00	1.00
江戸川			35.05		0.50						
八王子市	0.09	0.27	55.65								
町田市		0.88	55.46								
西多摩			33.21								
南多摩			41.57								
多摩立川			35.81								
多摩府中	0.05	0.05	39.55		0.33	0.33					5.00
多摩小平		0.27	47.87		2.50		0.50				4.00
島しょ			14.50								
東京都	0.02	0.09	34.43		0.54	0.08	0.04	0.08	0.04	0.24	2.28

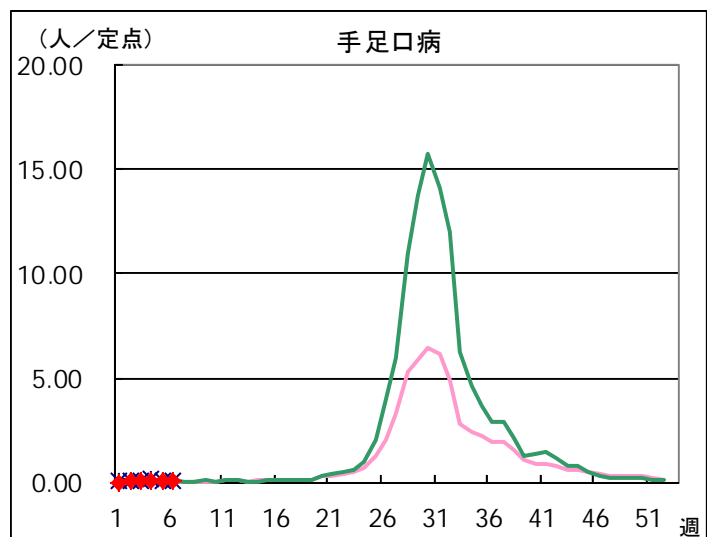
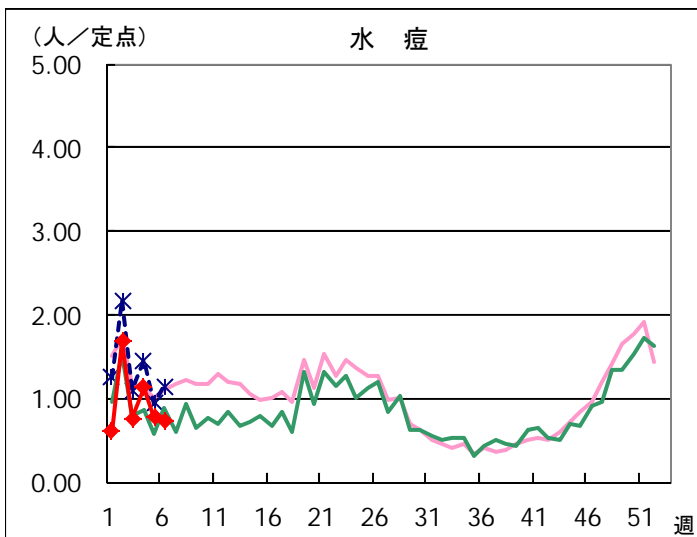
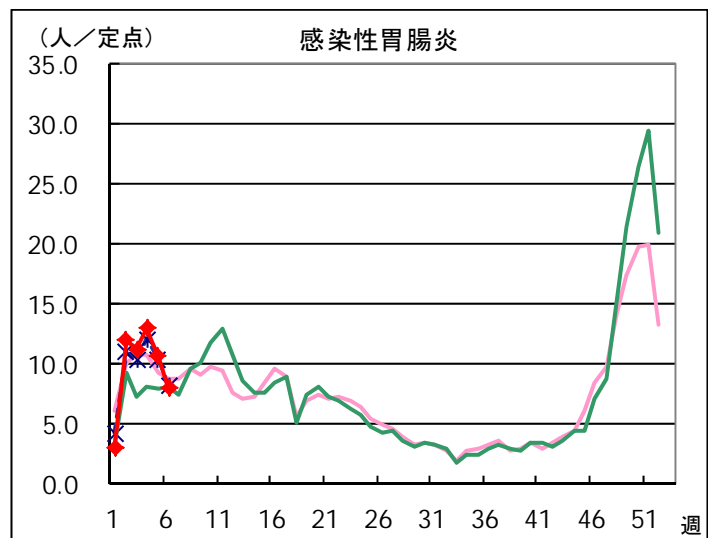
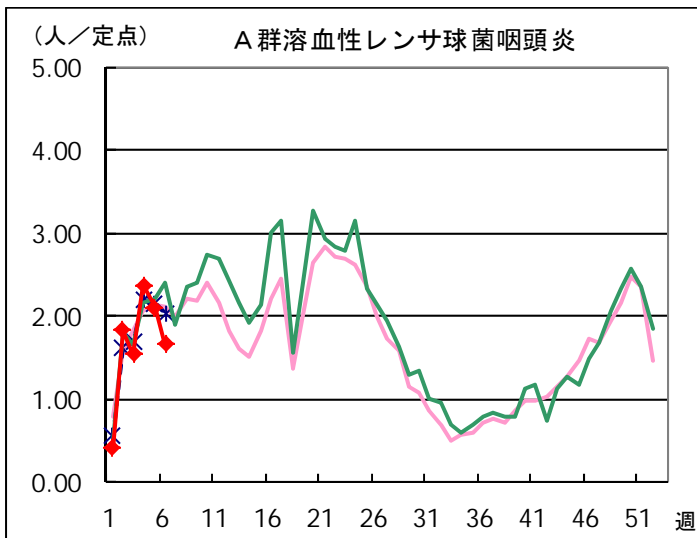
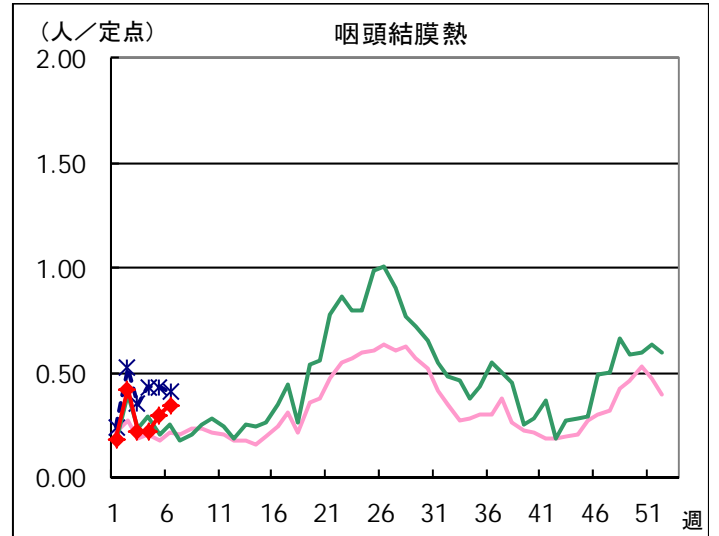
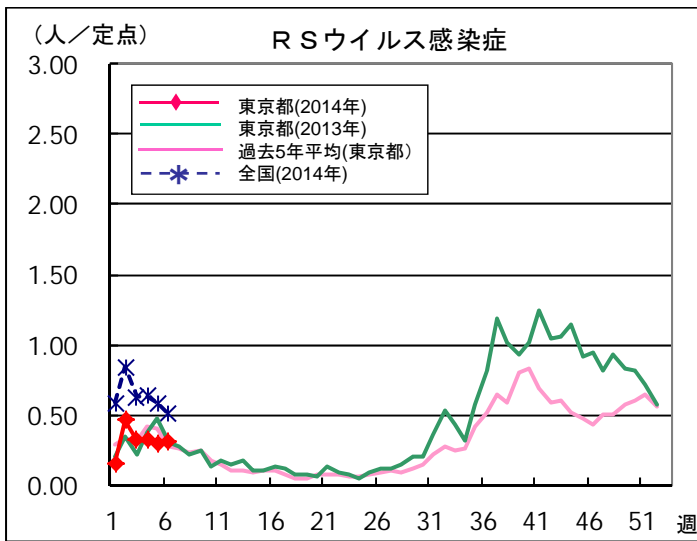
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年6週

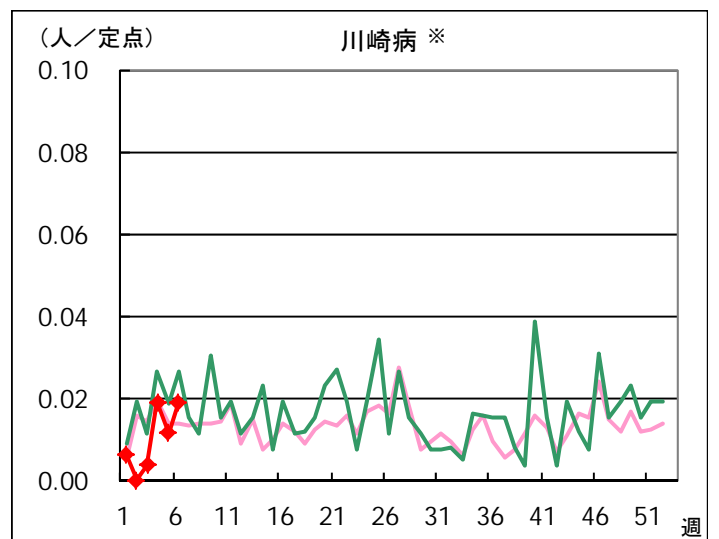
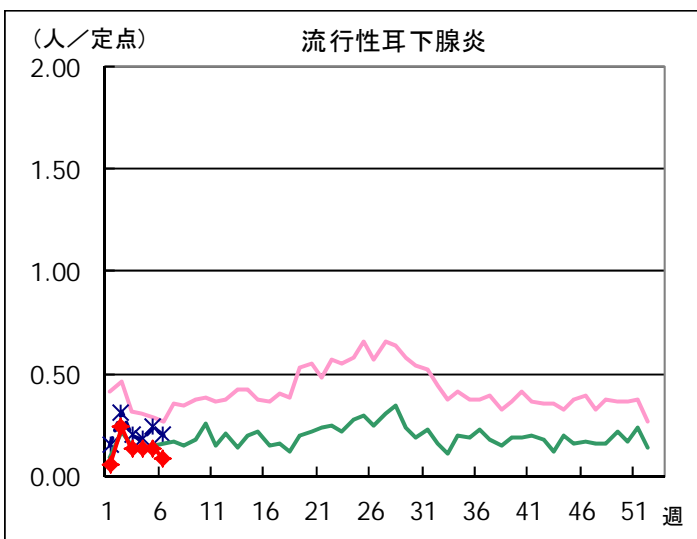
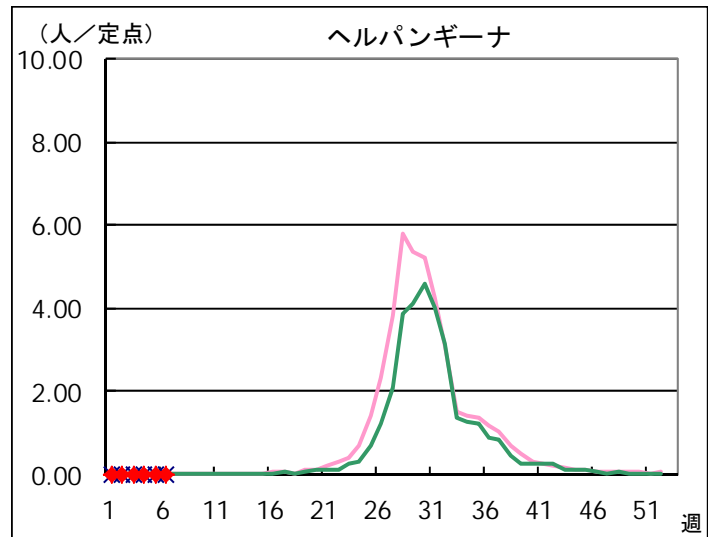
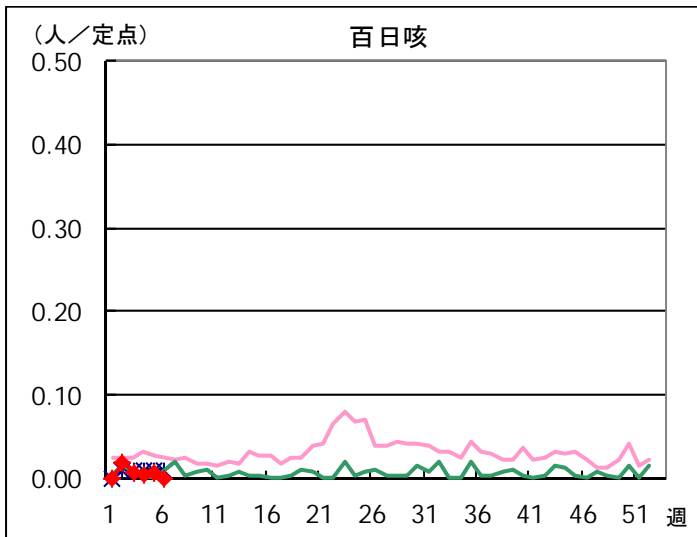
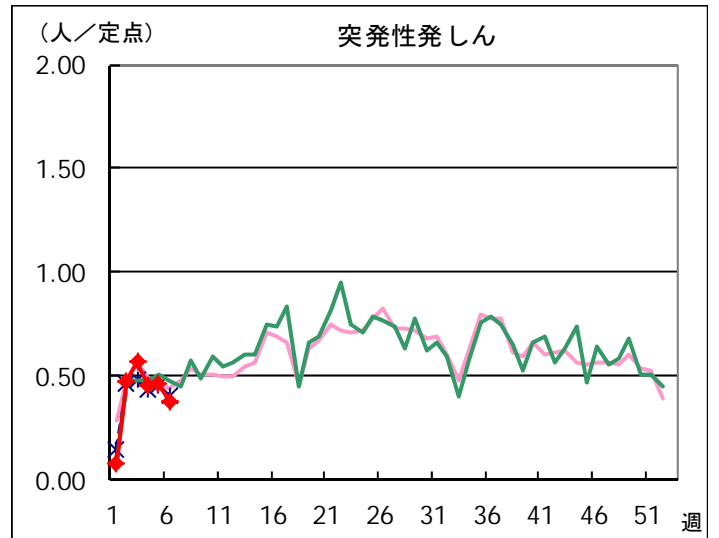
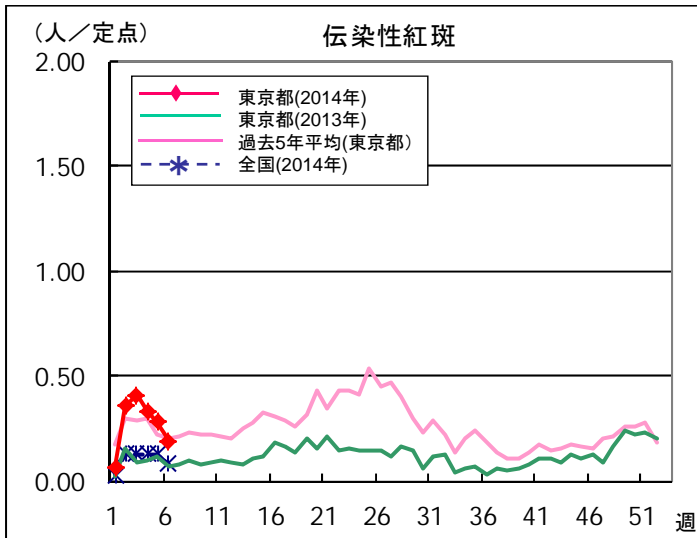
定点種別	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田				15	3			1			
中央区			5	3				1			
みなと	2	5	5	56	6		1	4			2
新宿区	5	4	11	46	4		3	1			
文京	1		2	23	1			4			
台東	1	2	8	43	1						2
墨田区		3	3	31	7			1			
江東区	7	1	15	143	8	3	1	6			3
品川区		1	3	79	5	1	1	4			
目黒区				17	2	1		1			
大田区	9	9	17	130	11	1	15	6			2
世田谷	5	3	28	112	8		7	4			
渋谷区	2		1	31		2					
中野区			4	58	7	1		8			
杉並	1		3	78	1		1	3			
池袋	2		6	40	3			1			
北区			5	33	6			4			
荒川区	5	1	8	22	4		1	3			1
板橋区			7	56	9		2	3			
練馬区	2	5	20	89	2		3	3			2
足立	5	3	13	118	18			8			1
葛飾区		1	11	55	6		2	3			
江戸川	4	5	48	123	10		3	2			3
八王子市	4	9	54	140	15	1	2	4			4
町田市		27	45	79	3		1	2			1
西多摩	2	5	13	56	5			1		1	1
南多摩	4	1	22	60	6		2	4			
多摩立川	7	1	23	85	3	2	2	4			
多摩府中	6	1	30	210	20	1	2	6			
多摩小平	7	4	26	66	18		1	8			
島しょ			1								
東京都合計	81	91	437	2,097	192	13	50	100		1	22

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田			84					1			
中央区			127		3						
みなと		1	253								2
新宿区	1		265					1			3
文京			141							2	1
台東			168								
墨田区		2	252		2						5
江東区	1	1	510								
品川区			307								
目黒区			101		2						
大田区		1	631								
世田谷			889			1					12
渋谷区		1	131							2	4
中野区			227								
杉並			574		1						
池袋		1	159		1						3
北区			390								
荒川区		1	351		1						
板橋区			367		2						3
練馬区			656								
足立	1	1	651		1						
葛飾区			487						1	2	1
江戸川			666		1						
八王子市	1	3	946								
町田市		7	721								
西多摩			465								
南多摩			582								
多摩立川			752								
多摩府中	1	1	1305		1	1					15
多摩小平		4	1101		5		1				8
島しょ			29								
東京都合計	5	24	14,288		20	2	1	2	1	6	57

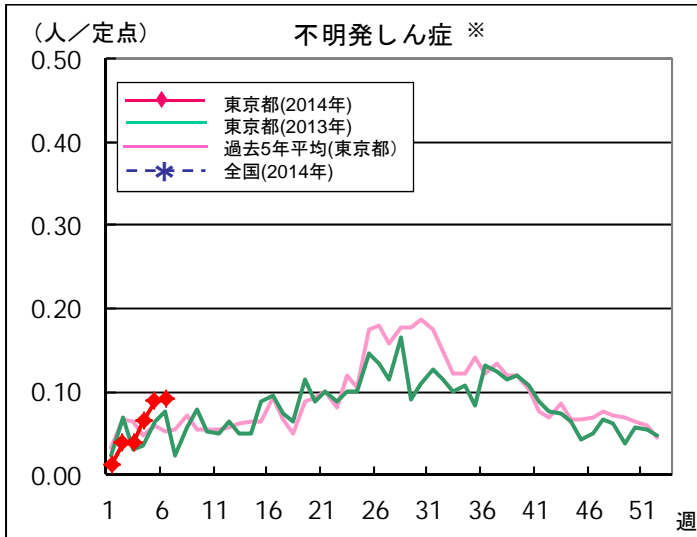
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年6週 現在)

◆ 小児科定点



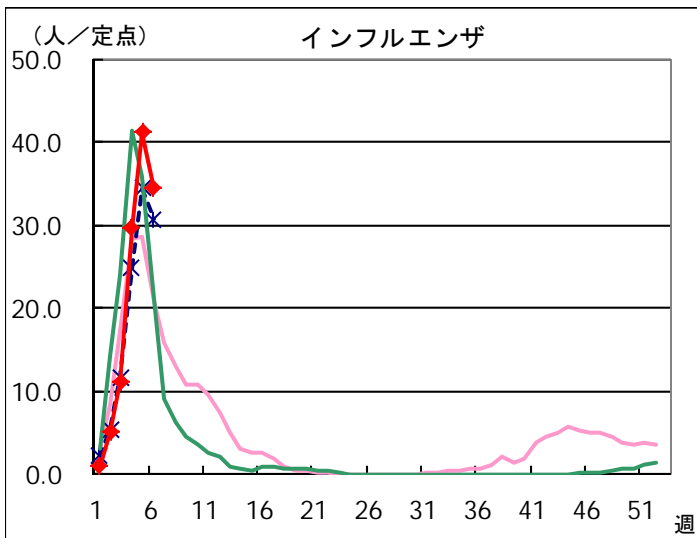


※ 東京都独自対象疾患

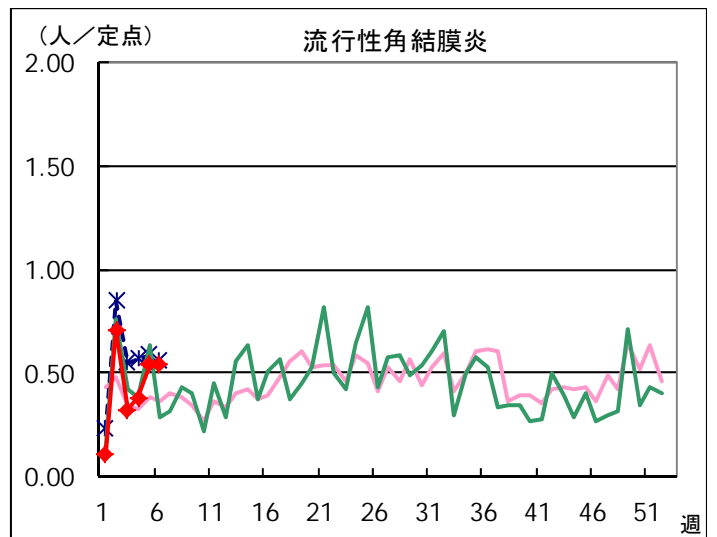
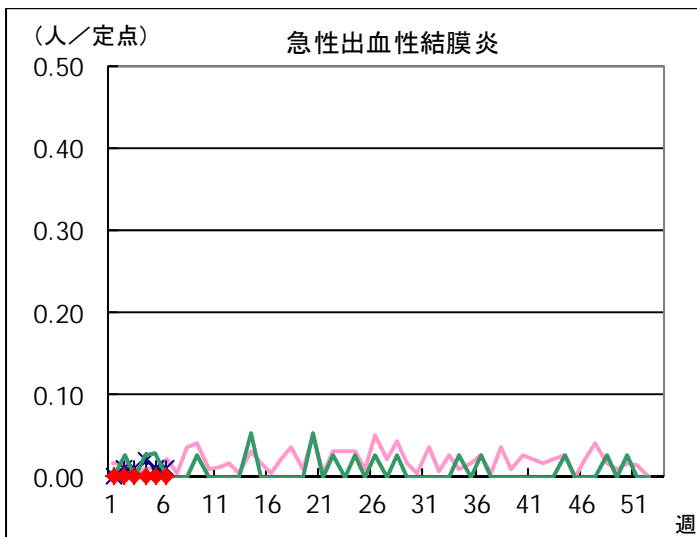


※ 東京都独自対象疾患

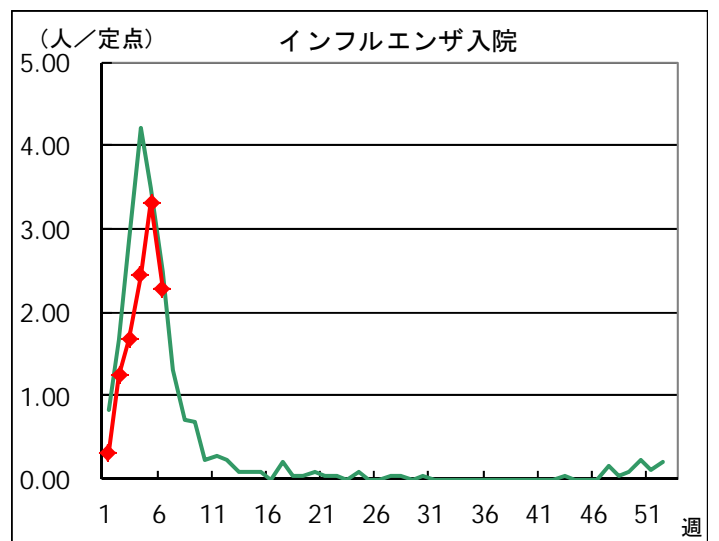
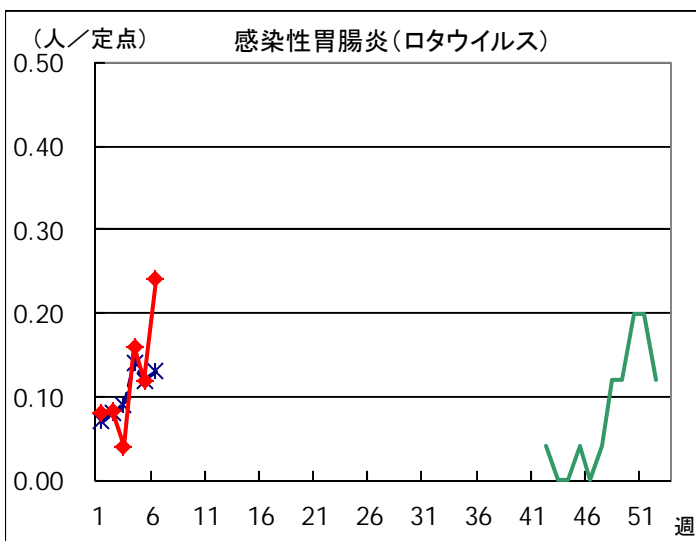
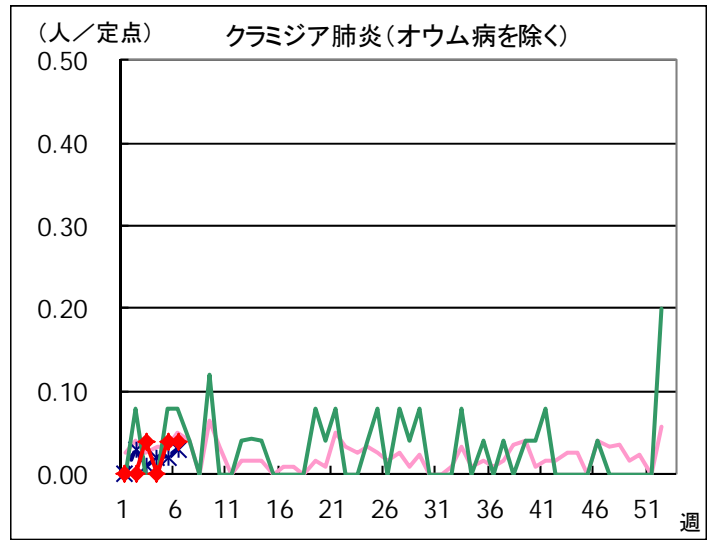
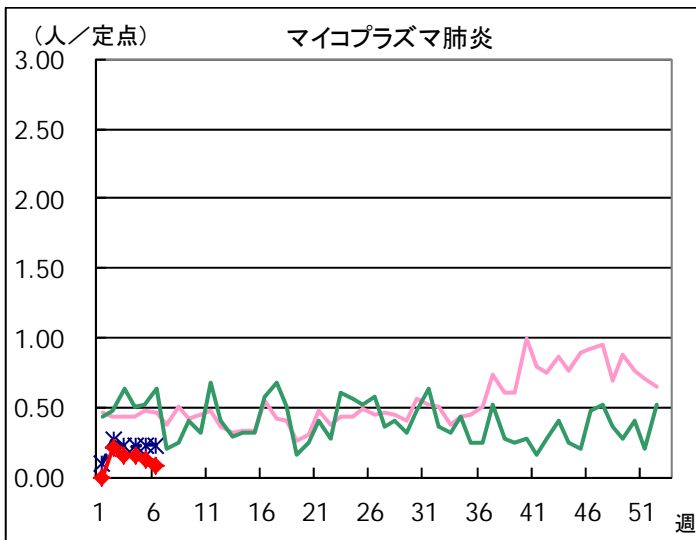
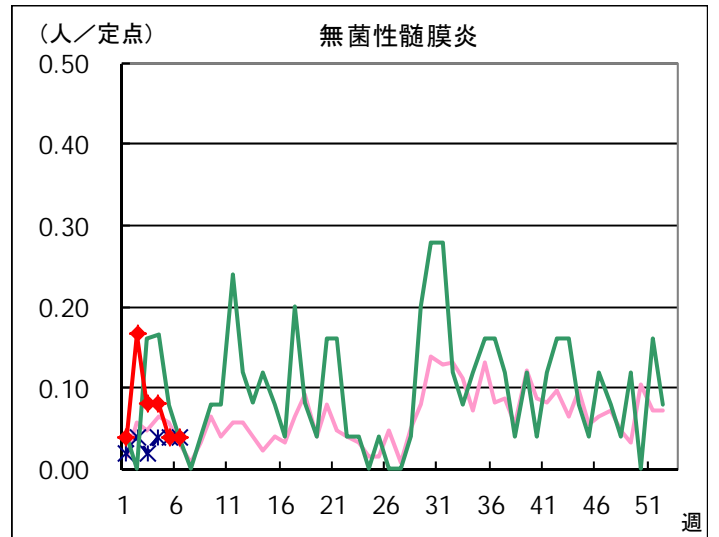
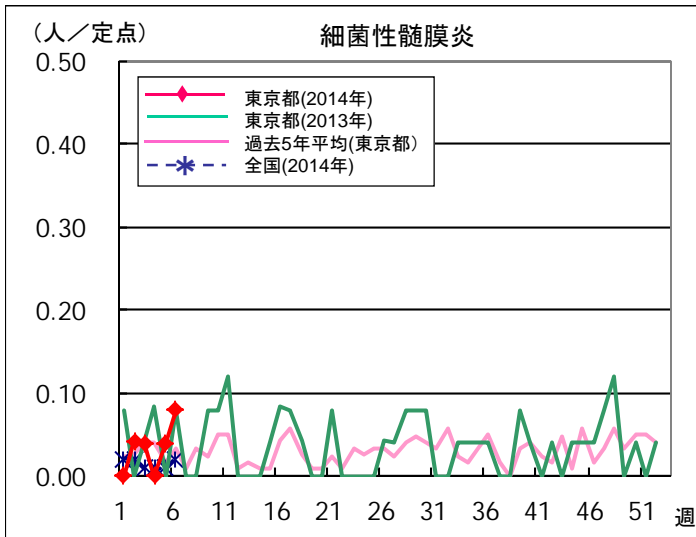
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント

管轄保健所	インフルエンザ 迅速診断結果			医療 *1 機関数	コメント
	A型 *2	B型	記載なし		
千代田	14	6		1	
みなと	87	82		5	・AH1pdm09型 22名
新宿区	37	27	2	3	・AH1pdm09型 14名
文京	41	71		4	・AH1pdm09型 4名
台東	19	47	20	4	・AB同時感染 1名
墨田区	121	127		8	・臨床診断 4名
江東区	212	218	74	13	・B型のほうが多い
品川区	110	126	13	8	・AB同時感染 1名
目黒区	44	45		6	・AB同時感染 1名
大田区	98	76	35	10	・「A型9人、B型12人」の内、予防接種済10人、未接種11人でした。今シーズンは、スタートからA・B型が混在しています。 ・今週は21名、B型は7名です。B型が増えてきた印象です。
世田谷	94	136	159	13	・AH1pdm09型 4名 ・AB同時感染 1名 (3医療機関より) ・今週も70名を超えている。B型がA型を超えました。 ・15歳以上が多い。男性18名、女性3名と、男性が圧倒的に多い。
渋谷区	26	46	11	4	
中野区	124	98		11	・臨床診断 5名
杉並	69	66	42	5	・AB同時感染 1名 ・小学生の多数がB型 30歳以上はA型
池袋	31	14	4	2	
北区	60	173	71	7	・年少者にB型が多い傾向がみられました。年齢は子供から成人まで広い層に流行しています。 ・乳幼児はほとんどB型です。A型は成人に多い傾向です。
荒川区	76	167	3	4	
板橋区	27	25	7	2	・AH1pdm09型 1名 ・AB同時感染 1名
練馬区	178	115		10	・前週と同様、B型が多い傾向
葛飾区	224	206	3	12	・AH1pdm09型 5名 ・臨床診断 6名
江戸川	85	102	6	4	
八王子市	368	477	52	15	・臨床診断 4名 ・臨床診断 5名 ・臨床診断 16名
西多摩	184	121		8	
南多摩	184	270	70	12	・総数減少。しかし、B型増(6割弱)
多摩立川	81	75	7	4	
多摩府中	185	176	23	12	・臨床診断 9名
多摩小平	215	397	81	13	・AB同時感染 1名 ・小中学生にB型の症例が多い傾向あり
島しょ	17	3		1	
総計	3,011	3,492	683	201	

*1 迅速診断結果の報告があった医療機関数

*2 AH1pdm09型を含む

2014/2/12集計

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/25	ウイルス性発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	遺伝子
1/28	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルスG II	
1/24	水痘	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
1/25	発熱 咽頭炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
1/24	不明発しん症	1	咽頭拭い液	風しんウイルス 麻しんウイルス A型 } ※1	
1/27	ヘルペスウイルス歯肉口内炎	2	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス 1型	
1/28	ヘルペスウイルス歯肉口内炎	2	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス 1型	
1/25	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
1/27	咽頭炎 口唇口内炎	3	口唇拭い液	単純ヘルペスウイルス 1型	
			咽頭拭い液		
1/27	インフルエンザ	3	鼻汁	ライノウイルス インフルエンザウイルス AH3型 ※2	
1/28	伝染性紅斑	4	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
1/25	伝染性紅斑	5	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
1/22	ウイルス性発しん症	9	咽頭拭い液	風しんウイルス	

※1 検体採取日前にMRワクチン接種

※2 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
5週	26		7	8
2013-2014年 シーズン累計**	82		32	41

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記をAH1pdm09とします。

** 2013-2014シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2013年			2014年				
		50週	51週	52週	1週	2週	3週	4週	5週
ウイルス	アデノウイルス	3	5	2		6	4		
	ライノウイルス	4	3	3		1		3	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群	1							
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71			2		1	1		
	その他のエンテロウイルス	1					1		
	単純ヘルペスウイルス					1		1	4
	水痘・帯状疱疹ウイルス	1							
	ヘルペスウイルス6/7	3	5	1		5	2	4	1
	EBウイルス	1		1			2		
	サイトメガロウイルス							1	
	ムンプスウイルス								1
	麻疹ウイルス								1
	風疹ウイルス								2
	パルボウイルスB19		2			1	1	1	2
	RSウイルス	1	2	1		1	5	2	1
	ノロウイルス	3	5	2		6		4	1
	ロタウイルス	1							
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3	1		5		6	3	5	7
	インフルエンザウイルスB	2	1	1		4	8	13	8
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2	2	4		7	15	25	26	
デングウイルス(抗体を含む)	1								
その他のウイルス	3								
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2013年50週～2014年5週

臨床診断名 検出病原体		インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	へ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数		155	17	23	27	14	7	1	2		3	8	18	3	5			55	
ウ イ ル ス	アデノウイルス		4	1			4		1			1	4					5	
	ライノウイルス	1	2	3	2								4		1			3	
	ポリオウイルス																		
	コクサッキーウイルスA群																		
	コクサッキーウイルスB群	1																	
	エコーウイルス																		
	エンテロウイルス71		2	1							1								
	その他のエンテロウイルス	1		1															
	単純ヘルペスウイルス		3																3
	水痘・帯状疱疹しんウイルス													1					
	ヘルペスウイルス6/7										2		6						13
	EBウイルス		1	1										1					1
	サイトメガロウイルス																		1
	ムンプスウイルス														1				
	麻疹ウイルス													1					
	風しんウイルス													2					
	パルボウイルスB19												5	2					
	RSウイルス		2	9															2
	ノロウイルス				20														1
	ロタウイルス				1														
インフルエンザウイルスAH1																			
インフルエンザウイルスAH3	26														1				
インフルエンザウイルスB	35		1				1												
インフルエンザウイルスAH1pdm09	79		1															1	
デングウイルス(抗体を含む)																		1	
その他のウイルス				3															
細 菌	カンピロバクター																		
	サルモネラ																		
	腸管出血性大腸菌																		
	その他の腸管系病原菌																		
	溶血性レンサ球菌																		
	百日咳																		
	マイコプラズマ																		
	その他の細菌																		
その他の病原体																			

<感染症豆知識>

眼科感染症の最近の動向

東京都の感染症サーベイランス事業において、眼科疾患で対象となっているのは「急性出血性結膜炎」と「流行性角結膜炎」の2疾患である。いずれも感染症法における五類感染症定点把握疾患に指定されている。現在、東京都内の眼科診療所および病院眼科の39施設が定点となり、毎週患者数が報告されている。

急性出血性結膜炎は、エンテロウイルス70あるいはコクサッキーウイルスA24変異株を原因とするウイルス性結膜炎である。症状は急激に発症する眼痛、結膜充血、眼脂、結膜下出血、耳前リンパ節腫脹が出現する。潜伏期間は1～2日で、有効な治療法はなく、約1週間で治癒する。2007年に眼科定点が現在の39施設に増加した。2007年以降の定点当たりの年間の患者数は、2007年2.15人、2008年1.66人、2009年1.37人、2010年1.91人、2011年0.84人、2012年0.50人である。2010年を除いて年々減少傾向にある。

流行性角結膜炎はアデノウイルスを原因とするウイルス性結膜炎である。「はやり目」とも言われ、感染性の強い結膜炎である。症状は急激に発症する結膜充血、眼脂、流涙、眼瞼腫脹、耳前リンパ節腫脹が出現する。潜伏期間は7～14日間で、有効な治療法はなく、約10日間で治癒する。2007年以降の定点当たりの年間の患者数は、2007年32.04人、2008年22.41人、2009年18.28人、2010年24.60人、2011年22.73人、2012年30.01人である。2007年から2009年にかけて減少していたが、それ以降増加傾向にある。

(文責 井上眼科病院 井上賢治)